

山中伸弥・京都大学教授のノーベル賞受賞について

この度のノーベル賞受賞を心からお祝い申し上げます。永年の努力と研究が実を結んだ結果であり、心から敬意を表したい。京都経済界にとっても、新たな自信と誇りを与えていただいたと大変嬉しく思う。今回の受賞が弾みとなり、再生医療やその関連産業・技術がより一層発展し、世界中の人々の安心・安全な暮らしやわが国経済の成長へとつながることを期待したい。

京都は、昔からの人々の知恵と産学公の知恵インフラを活かしながら、新しい産業・生活文化を生み出す「知の創造と活用」の好循環を保っている。また、大学・研究機関が集積し、自由な雰囲気の中で、斬新な発想で落ち着いて研究に取り組むことができる。山中教授の不断の努力もさることながら、これまでも京都から数多くの受賞者を輩出してきたように、こうした京都の都市要素が、今回の受賞に寄与していると捉えている。

今後もそれぞれの大学や関西文化学術研究都市の研究施設、行政などと連携し、オール京都で若手研究者が基礎研究しやすい環境を整え、育成していく施策が重要であると考えている。

以 上

平成24年10月8日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄